

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

ゆたてのしんじ

湯立ての神事

新見市

高総早倉矢井浅里笠
梁社島敷掛原口庄岡
市市町市町市市町市



かんけい ばしょ
関係のある場所

ふなかわはちまんぐう
・船川八幡宮



ぎょうじ

この行事について

「湯立ての神事」は船川八幡宮秋季大祭前日の10月14日に同宮拝殿前の境内で行われます。この神事では、あらかじめ拝殿正面前に祭壇を作り、祭壇と拝殿の間に水を入れた鉄製の釜12個を2列に並べます。祭壇には白米・玄米各1合・角樽1対・御幣2柱・杓2本・木綿の白布1反・湯笹2本を供え、午後7時になると神職の2人が祭壇の前に座って、係員2人がそれぞれの釜の下の薪に火を点けます。つづいて、神職2人がそれぞれ御幣を取り、2列の釜に向かい合って湯をかきまぜます。係員が白布を両方の釜の上に引き渡すと、神職がそれぞれの釜ごとに神歌を歌いながらお湯を掛けて、湯こしを終わります。その後、束ねた笹をお湯につけて清めを行い、笹を持った神官はお互いに清め合い、さらに、境内末社、齋主・参拝者のお清めを行います。湯立ての後、拝殿で宵祭祭典が始まります。祭典は齋主と神官12人によって行われ、巫女2人が浦安の舞を奉納し、最後に玉串奉奠が行われて終了となります。

この湯立ての神事は、豊作祈願や無病息災をお祈りするとともに、その年の運勢を占う神事とも伝えられています。